



パチュリーのポアトラップダンジョン 2

R18  
ADULT ONLY



草木も眠る丑三つ時。

パチュリー・ノーレッジは  
使い魔である「小悪魔」の手によつて  
とある地下迷宮に閉じ込められてしまう。

帰ったらお仕置きね……

魔力が封じられ、魔法やスペルカードのみならず、  
空を飛ぶことすらままならない彼女を  
待ち受けていたのは、  
丸呑みモンスターや陰湿な畏だった。

必死の抵抗もむなしく、  
何度も丸呑みにされるパチュリー。  
丸呑みにされて助け出されても、記憶はそのままに、  
終わることのない異常経験を  
何度も繰り返される彼女の理性は  
徐々に亀裂を帯びてゆく……

「まだまだですよ、パチュリー様。

「もっと、もっと、パチュリー様が  
丸呑みにされる姿を、  
私に見せてください……。」

今度もまた  
逃げられない……

せつかく助かったのに  
これじゃ、また……!



小悪魔ったら…

私をいつになつたら  
ここから出すつもりかしら…

いん♡

しかもこんな服まで着せて…

ぷるん♡  
ん♡

ここから出たら  
絶対お仕置き  
してやるんだから…

ぽっ♡  
ぽっ

以前の異常経験から  
命からがら抜け出せたパチュリー。

事の元凶である小悪魔への執念を  
燃やしながらか、この忌まわしき地下迷宮に  
改めて探索を開始する。

その歩みには、  
怒りのみならず、恐怖も入り乱れる。

無理もない。

ここでは「魔力が使えない」うえに、  
「彼女をエサとして丸呑みしてくる  
怪物や陰湿な罠」が  
存在するのだから…。

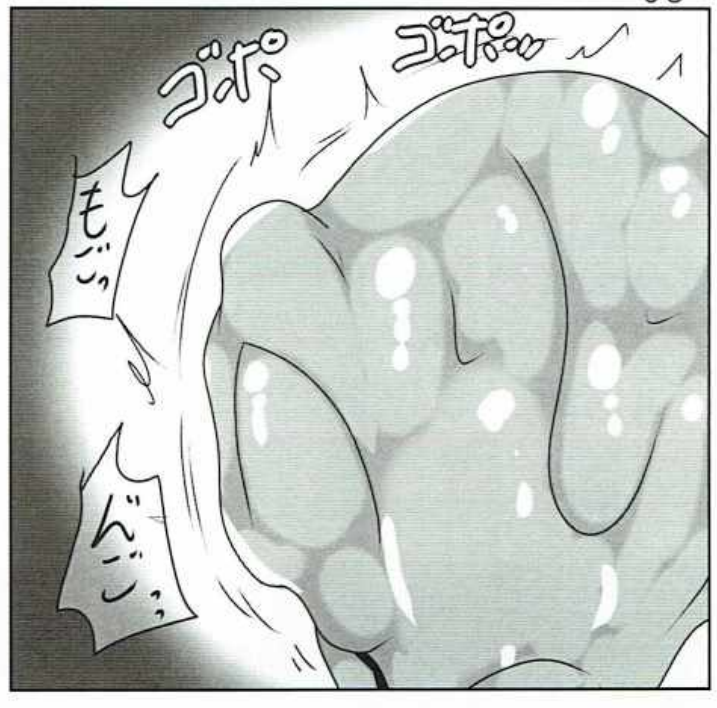




パチュリィの頭上に  
突然スライムが落ちてきた！

抵抗する間もなく、  
彼女の豊富な体を  
包み始める！







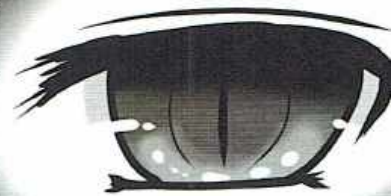


一瞬であった。  
スライムは一瞬にして  
パチュリーの身体を包み込んでしまった。  
パチュリーも必死になってもがくものの、  
スライムの粘液がとりもちの如く粘りつき、  
活路が見出せる事はなかった。

スライムはやがて満足そうに  
迷宮の奥へと歩いていく。  
自分のエサとなったパチュリーが  
入ったお腹のふくらみを撫でながら。  
パチュリーはスライムに丸呑みに  
されてしまった…







身体の締め付けるような感触に  
彼女は目を覚ます。

スライムに丸呑みにされていた筈の  
身体は、何故か今度は  
大蛇に巻きつかれていた。

こ、今度は  
大蛇っ!?

あゝゝゝ

思わぬ展開に驚く彼女だが、  
知ったことかと言わんばかりに、  
大蛇は捕まえた獲物を頭から  
呑み込みはじめた！

あゝゝゝ  
ちゅん  
!!

やめろ  
やめろ  
やめろ

ん

ん

...





蛇の口の中…  
狭苦しくて…  
ぬるぬるしてて  
気持ち悪い…!!



だめ…! どんどん  
呑み込まれていく…







身動きがとれない…

ゴクッ

ゴポ...

胸が押しつぶされて  
苦しい…。

ゴクッ



クッ

ア...

ゴクン




ンク

今度はこの蛇のエサに  
なるっていうの…!?

ンク





スライムに開放された  
彼女を待ち受けていたのは  
窮屈でわずかに酸の匂いが立ち込める  
大蛇の腹の中であつた。

窮屈で、ぐねぐねとうなった肉壁が  
彼女の身体を離すまいと捉える。  
パチュリィはなすすべもなく、  
大蛇の腹の奥へと運び込まれる…。



…いつまで気絶  
していたらどうか。

パチュリーは肌から感じる  
肉の感触とぬめりに不快感を  
感じながらも、目を覚ました。

ん…

すると、どうだろう。  
彼女の目の前に  
一筋の光が届いていた。

あれは…外…？



「何故？」と思いつつ、  
彼女は肉の管の中から  
脱出を試みた。



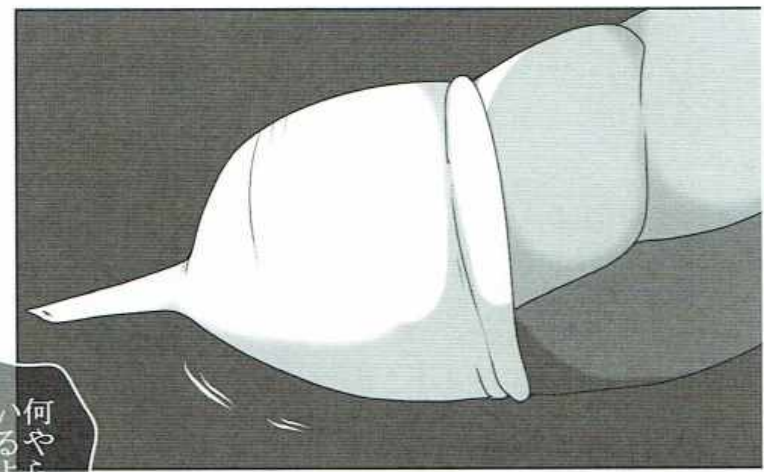
窮屈で暑苦しい肉の空間からの、  
薄暗くて肌寒い迷宮の空気に  
少しだけパチュリーは救われた…。

えーと…

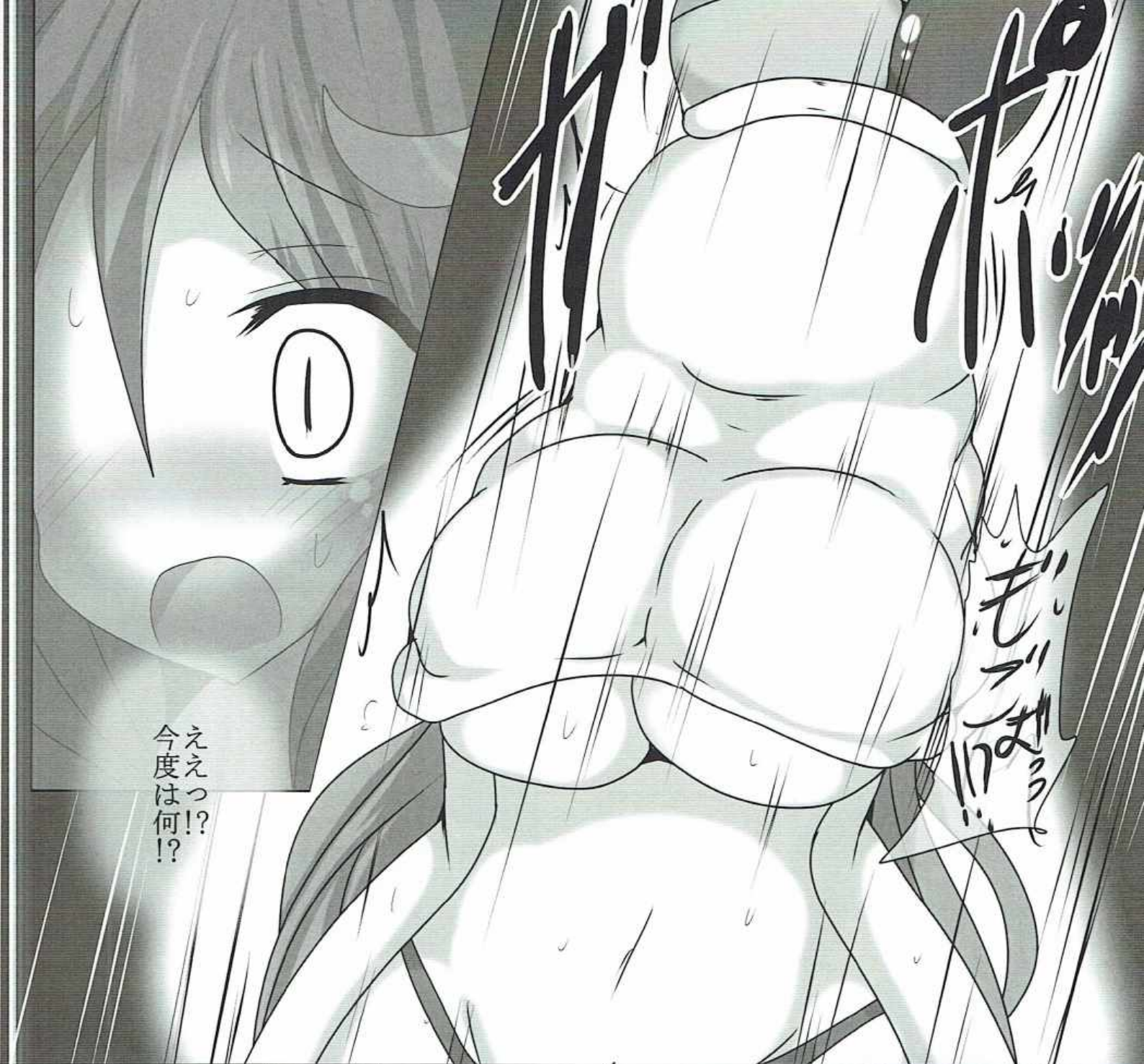
私、まだ生きてるのね…？

ド  
ロオ…










ええっ!?  
今度は何!?



凄いい力で  
吸い付いて  
くる…!?











ゴポ...

ギョポ

ギョポ、ギョポと  
肉が蠢く音が  
パチュリーに  
こだまする。

ゴポ...

この肉で出来た管の中では  
満足に腕も足も口も動く事は  
出来ない。

パチュリーは、見知らぬ怪物に  
吸収される術から逃げる手段を  
失っていたのだ...

ギョポ

それと同時に彼女も  
肉壁の空間の奥へと  
吸い上げられるように  
運ばれてゆく。

ギョポ

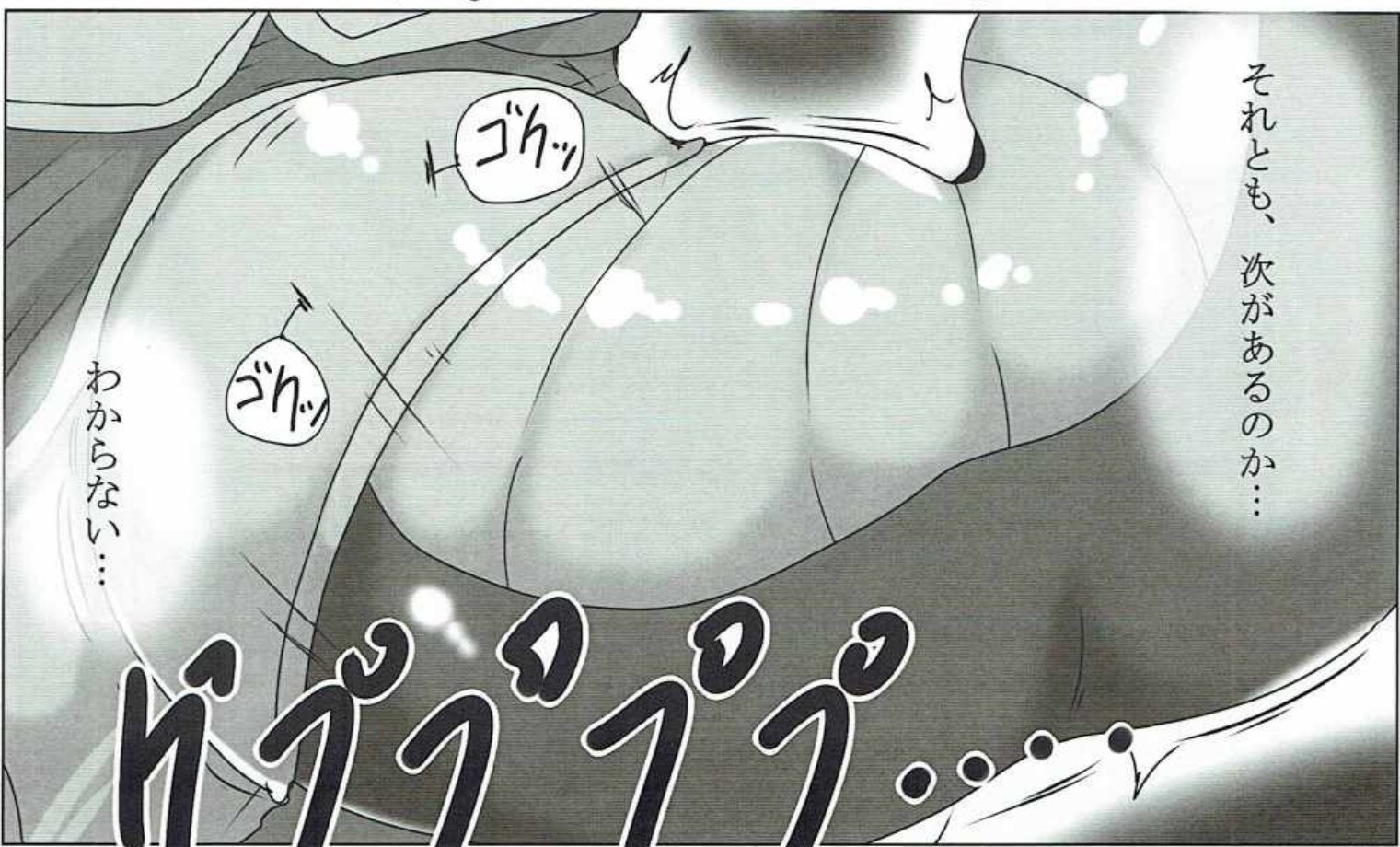




だめ：  
私：  
はもう：  
助：  
から：  
ない：  
…



このまま丸呑みに  
されて終わる  
のか…



それとも、次があるのか…

わからない…



もう…何がなんだか  
わからない…  
もう…ないにも…

ズクン…

…

…

あらら…

パチユリー様、ちよつとこれ  
壊れちゃったみたいですね？

仕方ないですねー  
私が治してあげますから  
そこで寝ていてくださいねー？

まだまだ続きは  
あるんですから。



どうもタクです。  
今回の新刊は今年の夏コミに出した  
「パチュリーのボアトラップダンジョン」の続刊となりましたが  
いかがでしたでしょうか。

前作は人食い花、壁、ワームと前半冒険気味だったものでしたが、  
今回はいつものセル呑みとスライムを除き、  
いつぞやに出した「注文の多い調理店 in 小傘 まかないver」以来の  
大蛇の丸呑みシーンを描かせて頂きました。

いやホント蛇って描くの難しいんですよ。  
ざ○さんもかな○ふさんもばんこ○堂さんもcam○lさんも  
いったいぜんたいどうやってあんなにサクサク描けるんやろね。

しかしながら、ここ最近冒険が足りなかった自分には  
結構新鮮でした。今後も尻尾丸呑みはもちろん、  
いろんな丸呑みに手を伸ばせるように尽力いたします。

遅くなりましたが、この度は本書を手にとっていただいた皆様と  
関係者の皆様に、感謝を。

(そろそろ大きな波に乗りたいと考えている)  
幻想ストマック      タク





パチュリーの  
vore  
ボアトラップダンジョン

R18  
ADULT ONLY

2016/08/13 C90 発行

パチュリーの  
ボアトラップダンジョン

とらのあな(書店委託)や  
DLsite(ダウンロード販売)にて  
販売中!



「パチュリーのボアトラップダンジョン2」

2016年10月9日 発行  
代表者… タク/幻想ストマック  
印刷所… (株)ポプルス様

e-mail→ takuneko0828@yahoo.co.jp  
(本書におけるお問い合わせはもちろん、  
同人誌の感想やご意見もお待ちしております。)

pixiv→ id=1626319

※この作品は東方projectの二次創作作品です。  
※無断転載、未成年の購入を禁止いたします。  
※本書を読んだことによる、読者による犯罪、事件、事故等  
当サークルは一切責任を負いません。

本誌に出てくるプレイを実際に真似したりすると  
大きな事件や事故につながる恐れがあります。  
絶対に真似をしないでください。



幻想ストマック